

2006年(平成18年)9月22日

秘書広報室

首都圏担当 TEL 03-3661-4001

近畿圏担当 TEL 06-6815-2530

中間期・通期業績予想の修正ならびに配当予想に関するお知らせ

当社は、平成18年9月22日開催の取締役会において、本年4月18日に公表いたしました平成19年2月期(平成18年3月1日から平成19年2月28日まで)の中間期及び通期の業績予想、ならびに中間配当及び平成19年5月開催予定の第52期定時株主総会において承認されることを条件として当期末の1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することを承認いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成19年2月期中間業績予想数値の修正(平成18年3月1日～平成18年8月31日)

(単位:百万円, %)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	202,750	3,050	1,170
今回修正予想(B)	208,000	4,100	570
増減額(B-A)	5,250	1,050	600
増減率(%)	2.6	34.4	-
(ご参考) 前期(平成18年2月中間期実績)	196,704	3,028	1,636

(2) 平成19年2月期通期業績予想数値の修正(平成18年3月1日～平成19年2月28日)

(単位:百万円, %)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	407,000	6,300	630
今回修正予想(B)	413,000	7,800	1,500
増減額(B-A)	6,000	1,500	870
増減率(%)	1.5	23.8	138.1
(ご参考) 前期(平成18年2月期実績)	398,319	6,049	2,854

2. 修正の理由

(1) 中間期について

当中間期は「第二次中期三ヵ年計画」の2年目にあたり、「15の改革」が全社的に浸透し着実に成果をあげております。その結果、既存店の売上が前期に引き続き順調に推移するとともに、生産性の向上を目的とした諸施策を実行し、更にコスト改革・ロス改善を進めたことにより、経常利益は計画比1,050百万円の増加となる見込みであります。

なお、当期首において減損損失4,529百万円を計上したことから中間期は純損失となりますが、経常利益の増加にともない、中間純損失は計画比600百万円改善の570百万円と見込まれます。

(2) 通期について

通期においては競合が激化する中厳しい環境にありますが、引き続き改革・改善をスピードアップさせ生産性を向上させることにより、上期の基調を維持することで上記記載のとおり業績予想を修正しております。

3. 配当予想の修正

当社は、平成19年2月期中間業績予想数値の修正にともない、中間配当予想を普通配当7円から10円とする旨平成18年9月22日開催の取締役会において承認いたしました。

また、年間で普通配当を1株当たり14円と予想いたしておりましたが、通期の業績見通しを総合的に勘案した結果、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、年間の普通配当予想を1株当たり14円から、平成19年5月開催予定の第52期定時株主総会において承認されることを条件として、期末普通配当を10円とし、年間20円に増額修正いたしたいと存じます。

なお、前期は設立50周年・スーパーマーケット出店45周年記念として記念配当3円を加えた合計17円の年間配当を実施いたしております。

平成19年2月期(第52期)の1株当たりの配当予想の修正

	中間配当	期末配当	年間配当
前回発表予想(A) (平成18年4月18日)	7円00銭 (普通配当)	7円00銭 (普通配当)	14円00銭 (普通配当)
今回修正予想(B)	10円00銭 (普通配当)	10円00銭 (普通配当)	20円00銭 (普通配当)
増減額(B-A)	3円00銭	3円00銭	6円00銭
(ご参考) 前期実績(平成18年2月期)	7円00銭 (普通配当)	10円00銭 〔普通配当7円00銭 記念配当3円00銭〕	17円00銭 〔普通配当14円00銭 記念配当3円00銭〕